

接種の助成



公明党代表  
きむら はるえ 議員  
木村晴恵

**問** 带状疱疹のワクチン接種の助成を、令和4年12月と5年6月定例会一般質問で提案し、概ね半額の補助を助成するとの答弁であった。令和6年度から実施する助成額は、

**答** 自己負担の半額相当で、不活化ワクチンの場合は2回接種が必要であり、1回に1万円、2回分2万円分を助成する。生ワクチンの場合は1回4千円とする。

補聴器購入助成拡充は

**問** 認知症予防対策として、令和3年12月と令和5年12月定例会一般質問で補聴器購入への助成を訴え、令和6年度から購入費用の一部補助上限3万円との答弁があった。申請に必要な病院での意見書作成費用は個人負担の考えであり今後の補助拡充の考えは、

**答** 「医師意見書作成費用」については、自己負担としている。  
令和6年度からの新規事業であり、円滑な事業実施に努め、申請状況や高

たいじょうほうしん  
带状疱疹ワクチン  
接種助成額は  
自己負担の半額相当を  
助成する

年齢の方々のニーズを踏まえ今後の補助拡充を検討したい。

**問** 「子どもの権利条例を制定していくべき」と提案し、実効性の高い条例を制定するとの答弁だった。

**答** 子どもの意見を踏まえた上で、子ども課を中心に関係部署で検討を行い、令和7年4月1日からの施行を予定する。



▲带状疱疹ワクチンで早めの予防を



▲録画配信

3月5日に4人の議員が会派を代表し令和6年度施政方針について町当局の考えをたどりました。

代表質問とは、3月定例会において会派を代表する議員が町長の施政方針や予算編成方針に対して行う質問です。

子育て応援



政風会代表  
おかだ ちかこ 議員  
岡田千賀子

**問** 令和6年4月の町内保育待機児童数と令和7年度以降の保育待機児童の予測人数は、

**答** 国基準の待機児童数は10名、入所申し込み保留児童数は101名となる見込み。

令和7年度以降については子ども・子育て支援事業計画策定に向けたアンケート調査の結果から予測したい。

**問** 子育て世帯のニーズに対応し、保育待機児童の解消対策は、

**答** 播磨保育園が令和7年4月から保育所型認定こども園に移行する。保育定員が26人増加、幼稚園部が15人の設定で、遊戯室を4・5歳児の保育室に改修し、新たに遊戯棟を増築する。

新たな保育施設は

**問** 民間認定こども園として募集する保育施設の定員や予定地は、

**答** 定員は80人から120人。  
町有地を無償で貸し付け、令和8年4月の開設を目指す。

保育待機児童  
解消対策は  
保育所を新設する

夏休みの学童保育は  
長期休業中の学童保育の受け入れ体制は、

**答** 通常利用の児童で定員の余裕がなく、利用希望者の受け入れに限られている現状。  
令和6年夏休みから新たに播磨幼稚園の遊戯室で受け入れる児童数は15人。時間などは他の学童保育所利用と同じ要件で実施する。



▲こども園に移行予定の播磨保育園

質問者	質問事項
1 公明党代表 木村 晴恵	(1) 令和6年度施政方針は (2) 「播磨町子どもの権利条例」の進捗状況と今後は (3) 認知症の理解を深め、安心して暮らせるまちづくりを
2 政風会代表 岡田 千賀子	(1) 令和6年度施政方針は
3 チーム新星代表 大北 良子	(1) 令和6年度施政方針は
4 播磨町民の会代表 宮宅 良	(1) 令和6年度施政方針は (2) 持続可能なまちづくりを